# リリカラ エルワイタイル メンテナンス資料

## 日常管理

●屋外、トイレ、厨房の出入り口、自販機の前などにはダスコンマットを置いて汚れの持込や広がりを防止して下さい。

●掃除機やダスタークロスで塵やホコリをよく取り除き、固く絞ったモップや雑巾で水拭きして下さい。

●汚れのひどい時には、クリーナーまたは中性洗剤を薄く溶かした雑巾等で拭き取り、さらに綺麗な雑巾等で水拭きをして下さい。

●直射日光が当たる床面は気付かぬうちに少しづつ退色することがあります。カーテン、ブラインド等で日除けなどの工夫をして下さい。

●エルワイタイルは、製造時に表面に特殊コーティング加工を施しています。その為、汚れがつきにくく、落とし易くなっていますが、使用開始後は、床を美しく保つためにも、定期的なワックス塗布を行って下さい。

●ノンワックスコーティング対応品はワックスを塗布しなくてもご使用いただけます。付着した汚れは基本的に水拭きで除去できますが、表面に傷がつくとそこに汚れが溜まりやすくなるので、その際はワックスメンテナンスに切り替えることをおすすめします。

●メラミンタイルはワックス液が密着しないため、ワックスメンテナンスは行わないでください。

●清掃時にポリッシャーを使用される際は白パッド、または柔らかめのブラシをご使用ください。

## ワックスメンテナンス

●エルワイタイル（ノンワックスコーティング対応品を除く）施工後は美観を維持するためにもワックスを塗布を推奨します。

●施工後、接着剤が完全に硬化してから洗剤を用いて十分に洗浄し、よくすすいだ後乾燥させてから耐水密着性に優れた樹脂ワックスを塗布してください。

《推奨ワックス》

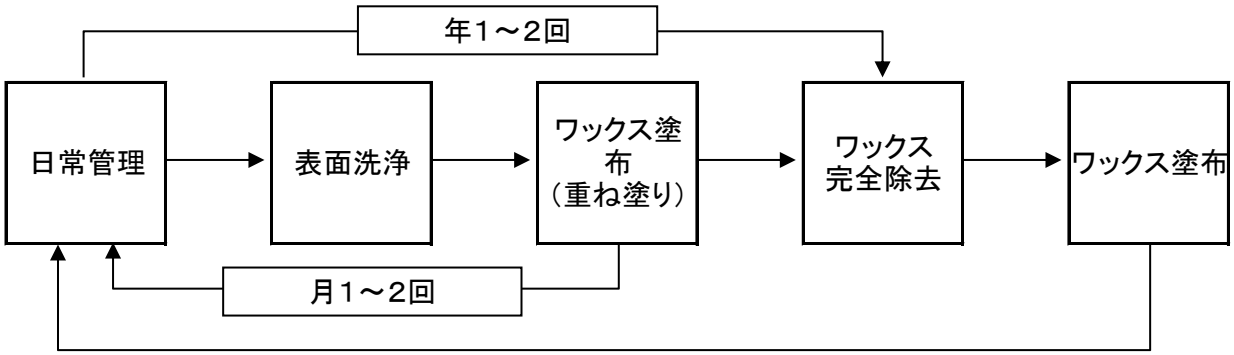
ワックス下地剤：（株）リンレイ　P-711

仕上げワックス：（株）リンレイ　超つや密着コート、防水タフコート（一般のお客様向け）

●ワックスを塗布することは、床材表面に皮膜を張り、床材そのものが直接汚れたり傷つくのを防ぎます。日常管理において汚れが取れなくなってきたら、クリーナーで表面の汚れを落としてから、ワックスを再塗布して下さい。ワックスを重ねていって、部分的にムラがひどくなってきたら、リムーバーにて古いワックスを完全に除去してから、新しいワックスを再塗布して下さい。

# リリカラ エルワイタイル メンテナンス資料

《一般的な店舗のメンテナンス頻度の例》




## ご使用上の注意

●エルワイタイルホームは住宅用です。土足には適しておりません。

●水、油類を床面にこばした時は、滑りやすくなりますのですぐに拭き取って下さい。

●汚れが付着した場合は、すぐに拭き取ってください。放置しておくと床材の変色、変質をきたす可能性があります。

●漂白剤、毛染液など化学薬品を床にこぼしたときは、すぐに拭き取って下さい。
床材の変色、変質をきたす可能性があります。

●重量物や尖った脚のものには、ゴム製品以外の保護具をつけて下さい。
また引きずりますと傷をつける恐れがありますので移動の際にはご注意下さい。

●タバコの火などで焦げ跡がつきますのでご注意下さい。

## 汚染についての注意

■ゴム汚染について

●ある種のゴム製品は、床タイルのような軟質塩ビ製品に長時間接していると、
ゴムの中の成分より暗褐色に変色させる可能性がありますのでゴム製品とは直接接触させないでください。
この汚染は、ゴム製品の使用を止めた後、時間を経て出る時もありますので予防として、家具の脚キャップ、机や椅子等のゴムキャップ、キャスターなどはゴム製品以外の保護具（アルミ製またはポリエステル製シート等）を使用し、直接触れない様にして下さい。
また、自転車のタイヤ等も変色させますので、床材上に放置しないで下さい。
やむをえず置く場合には、床材との間に保護具を入れ直接の接触はさけて下さい。

# リリカラ エルワイタイル メンテナンス資料

■その他の汚染について

●染料系オイルスティンなどで着色された家具類は、直接床に接触すると床タイルを変色させる可能性があります。床材との間に保護具を入れて下さい。

●粘着テープ（ガムテープ、布テープ等）は、ゴム汚染と同様の汚染が生じることがありますので、アクリル系粘着剤のテープをご使用下さい。

